



利用者向けマニュアル

2023年10月更新



デジタル情報営業部

1. **KinoDen** Kinokuniya Digital Library とは
2. ご利用方法
 - ログイン・検索
 - ページの閲覧
 - 印刷・ダウンロード
 - 閲覧備考
3. 動作環境



国内の学術書・専門書を中心に搭載した電子図書館です。



レスポンスなサイトデザインで
スマートフォンでも快適に
ご利用いただけます。



未購入タイトルも含めて
全点全文検索&試し読み
機能を標準装備しています。

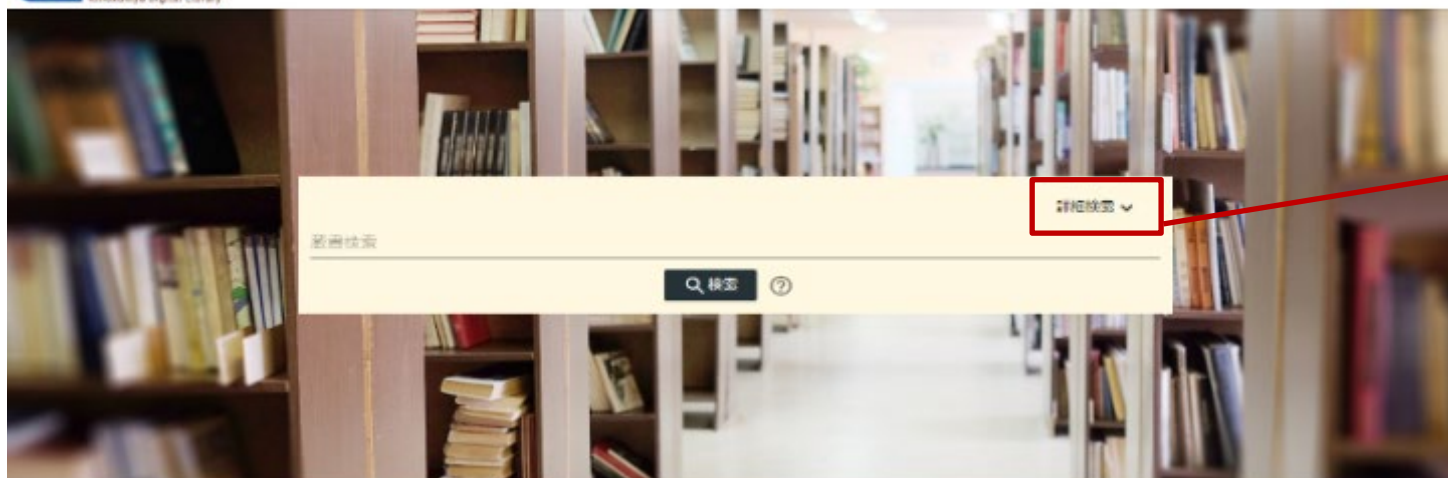


学生・教員からのリクエスト機能で
“本当に使われる電子図書館”を
実現します。

1. ご利用方法

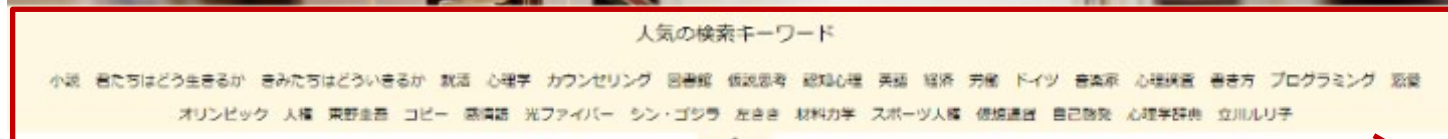
●ログイン・検索

https://kinoden.kinokuniya.co.jp/*****/



②

詳細検索も
可能です



①

よく検索されている
キーワードが表示
されます



※学外からのアクセス、タブレット端末からのアクセスについては、図書館担当者にお問合せ下さい

●ログイン・検索

●学認によるログイン方法 ※設定されている大学様のみ

1.「認証」画面が表示されるので、「学認にログイン」をクリックします



2.各大学様の「認証」画面が表示されるので、ID/PWを入力してログインします

The image shows the GakuNin login page. It has a header with "大学 学認用ログインページ" and the GakuNin logo. Below the header, there is a section for "SSO-KID" and "Password" with input fields and a "Login" button. There is also a checkbox for "I've given permission for release of your information to this system."The image shows the Kyushu University SSO system login page. It has a header with "大学 Kyushu University SSO system シングルサインオンシステム". Below the header, there is a section for "SSO-KID" and "Password" with input fields and a "Login" button. There is also a link for "ログイン方法が分からない時には" (If you don't know how to login).The image shows the Web Single Sign On System login page. It has a header with "大学 Web Single Sign On System". Below the header, there is a section for "ログイン" (Login) with input fields for "SSO-KID" and "Password" and a "Login" button. There is also a section for "パスワード" (Password) with a "Login" button.

3.KinoDenのトップページが表示されます

詳細検索入力画面

様々な項目で検索できます⇒P.7へ

紀伊國屋書店 学術電子図書館
KinoDen
Kinokuniya Digital Library

ヘルプ My本棚へ登録するにはサインインが必要です

通常検索 ^

タイトル	著者
出版社	シリーズ
ISBN/eISBN	目次
内容紹介文	Product ID
フォーマット	出版形態
全て	全て

☐ 本文読み上げ可 ☐ 印刷/ダウンロード可

それぞれの項目に指定した条件のAND条件で検索が行われます。

検索 クリア ?

全解除

- ☒ PDF
- ☒ EPUB
- ☒ EPUB Fixed-Layout
- ☒ オーディオブック

全解除

- ☒ 書籍
- ☒ 雑誌

検索結果画面（１）

- ・目次や内容紹介文、本文中の単語までも拾って結果を表示します

The screenshot shows the search results for 'イノベーション' (Innovation) on the KinoDen website. The page includes a search bar, filters for publisher, series, and year, and a list of books. Three red boxes highlight key features:

- Box 1 (Top Left):** A book cover for 'イノベーション 活性化のための方策' (Innovation: Strategies for Activation) by 後藤晃 (Ko Takahiro), published by 東洋経済新報社 (Toyo Keizai Shinboshu) in 2016. This box points to the text '本を選ぶと詳細画面へ⇒P.10' (Select a book to go to the detailed page ⇒ P.10).
- Box 2 (Middle Right):** Navigation buttons for '目次' (Table of Contents), 'ページの検索結果' (Search Results for this page), and '読む' (Read). This box points to the text 'ここからも本文を読めます⇒P.11' (You can also read the full text from here ⇒ P.11).
- Box 3 (Bottom Right):** A search result snippet for 'J A イノベーションへの挑戦' (J A: Challenges to Innovation) by 柳在相 (Yanai Aiharu), published by 白桃書房 (Shirahana Shoten) in 2009. This box points to the text '目次や本文中の検索結果も表示！⇒P.8' (Search results from the table of contents and full text are also displayed! ⇒ P.8).

本を選ぶと
詳細画面へ
⇒P.10

ここからも本文を読
めます⇒P.11

目次や本文中の検
索結果も表示！
⇒P.8

検索結果画面（１）

キーワードにヒットした部分がマーキングされて表示されます。

イノベーション

Q 検索

?

▼ 出版社 ▼ シリーズ

合計1,433冊

イノベーション

活性化のための方策

後藤 晃

東洋経済新報社(2016/2)

日本のイノベーション・システムをどのように改革していくべきか。企業、大学、公的研究機関、政策当局の進化と相互作用を促す方策を示す。

ページの検索結果 - イノベーション

×

本文を表示して詳しく検索

イノベーション — 活性化のための方策 まえがき イノベーションとはこれまでとは違う、新しいことをすること、一歩踏み出すこと、である。

このように人々の生活を豊かにすることがイノベーションの究極的な目的なのだ。

日本はこれまで、素晴らしいイノベーションを世界に送り出してきた。

本書ではイノベーションを考えるにあたって理解しておくべき基本的な概念や考え方のフレームワークを説明し、それに基づいて日本のイノベーション・システムについて検討している。

イノベーション — 目次 まえがき 第1章 イノベーションとそのメカニズム ■イノベーションとは何か ■イノベーションは、人々の暮らしを豊かにする ■イノベーション・システムの視点

▼

≡ 目次

Q ページの検索結果

▶ 読む

イノベーション

第1章 イノベーションとそのメカニズム

第2章 第三次産業革命とオープン・イノベーション

第3章 大学と公的研究機関のイノベーション・システムにおける役割

第4章 研究者—そのプロフィールと研究のインセンティブ

第5章 特許制度とイノベーション

第6章 イノベーション競争の促進と独占禁止法

終章 日本のイノベーション・システムの進化

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

8

未所蔵タイトルの検索

- ・「未所蔵を含める」にチェックを入れると、当館で所蔵していない電子書籍についても、内容紹介を確認したり、試し読みをしたりすることができます。

当館の所蔵タイトルのみ を検索した場合

KinoDen
Kinokuniya Digital Library

人口知能

検索

☐ 未所蔵を含める

著者 出版社 シリーズ

分類
指定なし

合計34冊

総記 (3) ▼

哲学 (1) ▼

歴史 (2) ▼

社会科学 (13) ▼

自然科学 (8) ▼

技術、工学 (0) ▼

産業 (0) ▼

人工知能と社会
2025年の未来予想
AIX（人工知能先端研究センター）【監修】 東原 聡
オーム社(2018/2)

2025年に人工知能が到達しているであろう地点を現実
これからの社会に人工知能を活かすための技術を解説
東京五輪も終わり、超・超高齢社会を迎え大きく様変
歩し、我々の社会に活用されているのでしょうか。
本書は、2025年に人工知能が到達しているであろう地
AIX（電気通信大学人工知能先端研究センター）を代
1章 2025年がやって来る！／2章 ロボットと人工知能
とインパクト／4章 自然言語処理と人工知能／5章 人
き

目次

当館で未所蔵の本も含めて 検索した場合

ここにチェック！

KinoDen
Kinokuniya Digital Library

人口知能

検索

☒ 未所蔵を含める

著者 出版社 シリーズ

分類
指定なし

合計1,544冊

総記 (99) ▼

哲学 (79) ▼

歴史 (71) ▼

社会科学 (375) ▼

自然科学 (481) ▼

技術、工学 (62) ▼

東洋経済
未所蔵 AIの破壊力
週刊東洋経済 e ビジネス新書No.156
週刊東洋経済編集部
東洋経済新報社(2015/12)

空前のAI（人工知能）ブームが巻き起こっている。
る。何が企業を引き付けるのか。

目次

閲覧開始

- ・[読む▷] を押すと、本文のビューワが開きます

The screenshot shows the KinoDen website interface. On the left, there's a book card for 'The Selfish Gene' by Richard Dawkins, titled '利己的な遺伝子 40周年記念版'. Below the card is a '内容紹介' (Content Introduction) section and a '目次' (Table of Contents) section. On the right, a larger view of the book cover is shown, with a red box highlighting the '読む' (Read) button. An arrow points from this button to the larger book cover view on the right.

※お使いの端末（PC、スマートフォン、タブレット等）によって、自動的に、見開きページでの表示／片ページのみ表示、が切り替わります

●ページの閲覧

- ・閲覧ページの各部分をクリック・タップすると、ページの移動や目次の確認ができます
- *マークがついている項目は、対象コンテンツのみ有効です。

<メニュー>

- ・拡大
- ・全画面表示
- ・音声読み上げ*
- ・文字サイズ変更*
- ・印刷・PDF出力*
- ・ヘルプ
- ・閲覧終了

目次

上下バー等 表示/非表示
(中央あたりをクリック)

≡ AI vs. 教科書が読めない子どもたち

🔍 本文を検索

本文内検索

ページ送り

<フローティングボタン>
右上のメニューと同じ操作が可能です。
※閲覧環境によっては表示されないことがあります。
その場合は右上のメニューより操作下さい。

シークバー

引用：東洋経済新報社『AI vs.教科書が読めない子どもたち』

●ページの閲覧

目次表示

目次項目をタップ・クリックすると、該当ページにリンクします

目次

30周年記念版に寄せて

第2版のまえがき

初版に寄せられた序文 ロバート・L・トリヴァース

初版のまえがき

第1章 人はなぜいるのか

第2章 自己複製子

第3章 不滅のコイル

第4章 遺伝子機械

第5章 攻撃 安定性と利己的機械

第6章 遺伝子道

30周年記念版

🔍 本文を検索

周年記念版に寄せて



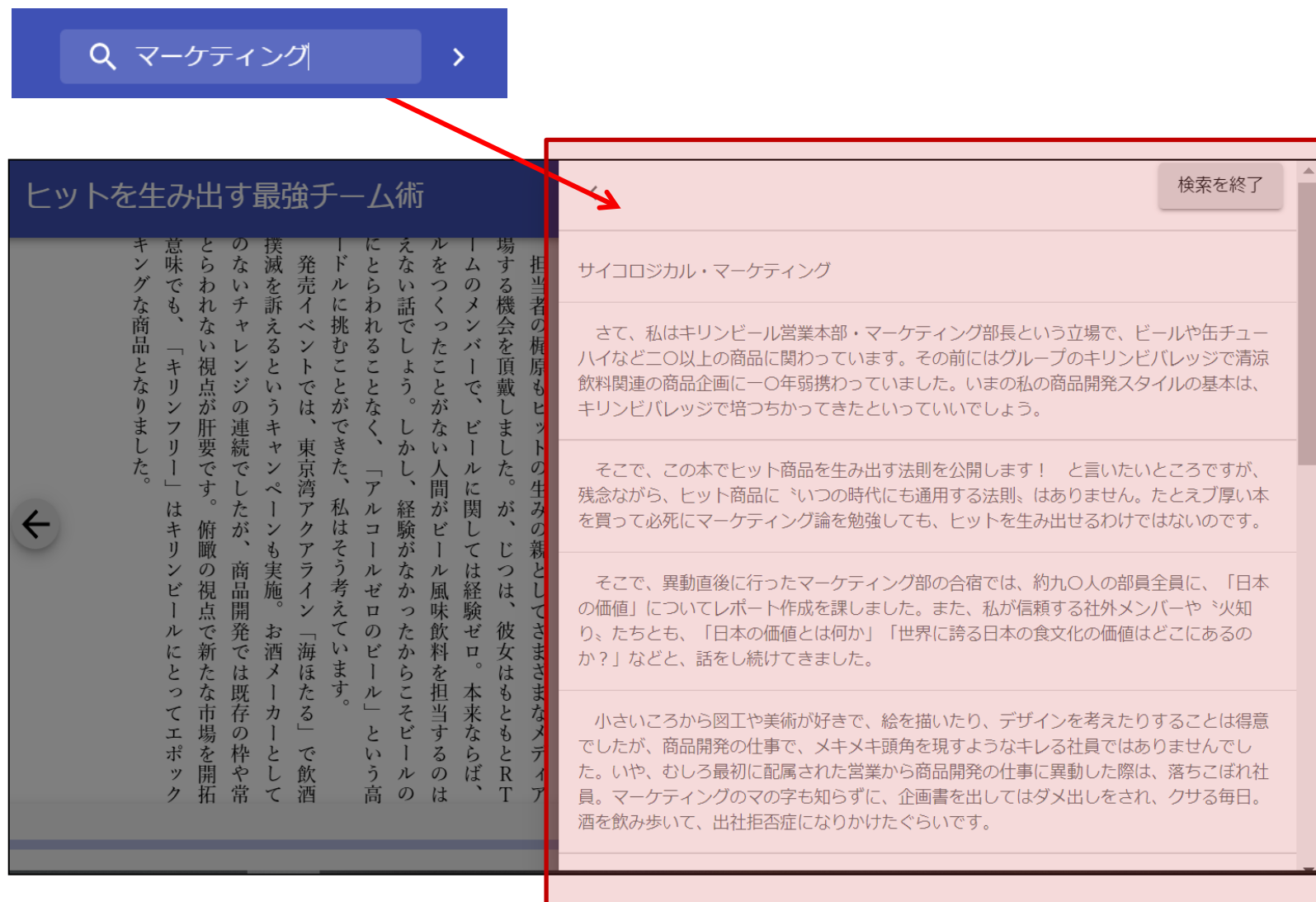
くも悪くも、自分が人生の半分近くを『利己的な遺伝子』とともきたことに気がつくといささか身が引き締まる。ここ数年、これ冊の本が出るたびに、出版社は販売促進のために私を講演ツアーした。聴衆はどの本の場合でも、新しい本に対して心地良い熱狂心え、丁寧に褒めたたえ、気の利いた質問をしてくれた。そのあんで本を買い、私にサインをさせる……そう、『利己的な遺伝子』ただこれはいくぶん誇張している。何人かは実際に新作を買ってであり、その他の人々について妻は、新しい著者を発見した読者の処女作に戻るといふ傾向は自然なことよと言って私を慰め己的な遺伝子』を読み終わったら、彼らは（好きになった著者の）しかもお気に入りの赤ん坊の顔を拝みにきてくれるだろうか。

に『利己的な遺伝子』はどうしようもなく時代遅れで、無用なものでしまったと言いつけるのなら、私はもっと深刻に悩むことだろうながら、（ある視点からすれば）そうは言い切れないのだ。細部でてしまったところもあり、具体的な実例がものすごい勢いで現れしかし、すぐこのあとで論じる一つの例外を除いて、大あわてでり謝罪したりするところは本書にはほとんどない。リヴァプール動物学教授で、六〇年代にオックスフォード大学で私に強い影響先生でもあるアーサー・ケインは一九七六年に、『利己的な遺伝子』若書きの本』と評した。彼はわざわざ、A・J・エアの『言語論理』についてのある注釈家の言葉を引用していた。この比較にひした。もっとも、私はエアがその処女作で書いた内容の大半をことを知っていたので、私もいずれしかるべきときがくれば同じるだろうという、ケインがそこに込めた辛辣な含みを見逃すことがなかった。

すは、本のタイトルについての多少の再考から始めることにしよう

検索結果

結果の部分をタップ・クリックすると、該当ページにリンクします



- ≡

教育相談の最前線：歴史・理論・実践

🔍

本

拡大

全画面表示

音声読み上げ

文字サイズ

印刷・PDF出力

ヘルプ

終了

←

本文

「本」または「本書」のローグは必ずしもいうものでないが「総理、憲法裁判所」を批判されていることも知りました。

自身体験の力を得て、私たちは無感で居るのではなく、一緒に勉強を続けています。そこでは勉強をしながら、本で学んだ知識や経験に活かす機会やスキルを身につけるために、メンバーが行動や考えを共有し、学び合っています。本で学んだ知識や経験に活かす機会やスキルを身につけるために、メンバーが行動や考えを共有し、学び合っています。

最後に、本書では「感動」を教育相談の原動力として強調しています。今日の教育相談では一人の子どもを複数人関係で支えることが普通です。たとえ低級、家庭教師、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどを見ても、必要に応じて普通級と支援者に加えた個別化支援を要する。このように学校という環境では、通常、後援支援体制を組む。ところが、授業のほとんどが個人支援の技法と事例が中心で、感動と関係性についてあまり書かれていません。これは大変重要なことでした。学校という環境の制約のために仕方なく支援するのではなく、本書では現代の多様な社会資源についても取り上げ、それらと関係性を築くことが教育相談の原動力であり、ケースをより効果的に解決する原動力であるとしています。本書の執筆者は委員関係の経験を持っている講師と感動の表現で、いわゆるクライシスや燃費的な感情を表現しているのではなく、むしろ、人々、個人として個人支援の経験や成功について書かれています。本書には、講師と感動を個人支援に活かす教育相談の原動力として明確に打ち出した表現的な特徴があります。

以上のように、本書にはいくつかの「日本でも初めて」の貢献があります。一見、新しい言葉を使っているが、内容を通じて古典的な価値を重視しているという印象を受けます。これは、本書を通じて古典的な価値を重視しているという印象を受けます。

読者

本書を執筆中、執筆者の一人である岡田隆雄先生の経験と先生は東京市立荒川高等学校三年級で出会った先生で、荒川市立荒川高等学校の先生に受け入れられ、学校が設立されたとき、先生として転任されたのがスクールカウンセラーでした。二人とも早稲田大学で学んでいたこともあり、出会ってすぐに家族会合しました。日本がスクールカウンセラー制度でも本格化のシグナル、シグナルとして真実な思いで学んだのが先生で、先生が抱えている「発達障害のある子どもの価値観」は、先生も決して負けない、強い信念に裏打ちされています。

本書の執筆である菅原先生は大学3年生で、そのボクシングから臨床活動を始め、岡田先生はスクールカウンセラーという環境を築いて、力を合わせて複数の困難事例に取り組んでまいりました。当時、荒川市でスクールカウンセラーに就任していた臨床心理士で岡田先生の助産師になっていた人はい人一人もいません。岡田先生は臨床心理士という職業と臨床心理士を兼ねた、橋渡しの役割であり、臨床心理士でした。

岡田先生から学んだことは何よりも「感動の重要性」です。本書において教育相談の原動力として強調している「感動」は、岡田先生と講師と感動の経験がなければ、書かれなかったでしょう。

岡田先生、菅原先生、ごめいよう。執筆を代表して、読んで感銘を受けたことを

©KINOKUNIYA COMPANY LTD.

● 閲覧備考①



- ・一冊のコンテンツを同時に閲覧できるのは原則 1 名です。
- ・閲覧しようとした本を、既に誰かが閲覧している場合、「試し読み」のボタンが表示され、内容の試し読みをすることができます。（一部、試し読みができないコンテンツもあります。）
- ・閲覧を終わる場合は、閲覧画面のブラウザを閉じてください。
- ・ブラウザを閉じ忘れても、1 5 分間何も操作がなければ、閲覧は自動的に終了します。



- | フォーマット（形式） | 文字サイズ変更 | 印刷・ダウンロード
※出版社の許諾がある場合 | 本文内検索 |
|------------|---------|---------------------------|-------|
| PDF | × ※1 | ◎ | ◎ |
| EPUBリフロー | ◎ | × | ◎ |
| EPUBフィックス | × ※1 | ◎ | × |

ISBN: 9784883672011
eISBN: 9784883679997
NDC: 010
Book ID: 4800007529
形式: PDF

←各コンテンツの形式は、
コンテンツの詳細ページでご確認いただけます。

● 動作環境（推奨ブラウザ）

- Windows Google Chrome
 Mozilla Firefox
 Microsoft Edge
- Mac Google Chrome
 Mozilla Firefox
 Safari
- iOS Safari
- Android Google Chrome